

りぶ・らぶ・あにまるず 第2回神戸アニマルケア 国際会議 ICAC KOBE 2012 開催される

平成24年2月18・19日、神戸ポートピアホテル（兵庫県神戸市）において、「食の安全・安心」「共通感染症」「人と動物の絆」などをテーマとし、「りぶ・らぶ・あにまるず 第2回神戸アニマルケア国際会議2012」が開催された。

第1回神戸アニマルケア国際会議は、平成21年12月12・13日に、神戸国際会議場において、NPO法人Knots（当時）により単独で主催された。今回は副題を「その医療と健康管理 ～人と動物の未来の為に」として、獣医師を中心とした専門家たちが一般に最新情報を伝えながらともに議論する内容となった。また「幸福な人間と動物との共生をさらに前進させること」というこの会議の目的が本会の主張とも共鳴するため、社団法人日本獣医師会と公益社団法人Knotsの共同で主催されることとなった。兵庫県・神戸市両獣医師会の共催、関係省庁・団体等の後援、関連企業等の協賛、関連団体の協力のもと、9つのワークショップを企画し、動物関連事業従事者、公衆衛生関係者、学生等をはじめ、約500人の聴講者に来場いただいた。

18日から行われた開会式では、本会山根義久会長から、口蹄疫、鳥インフルエンザの防疫活動や東日本大震災での動物救護活動の経験を生かし、今後日本がより成熟した国家となることを祈念する旨挨拶がなされた。続いて協賛企業の紹介と共に、特別協賛企業としてネスレ日本株式会社村林三七男氏から祝辞が述べられた。さらに協力団体が紹介された後、特別協力団体として一般社団法人ペットフード協会 越村義雄会長から祝辞が述べられた。最後にアドバイザーが紹介され、引き続き長崎大学 片峰 茂学長による基調講演が開始された。また、午後から19日にかけて、以下のとおりワークショップが開催された。

基調講演「感染症はいかに制御できるのか」

片峰 茂（長崎大学学長）

ワークショップI

「日常生活でペットからうつる人と動物の共通感染症」

座長：岡部信彦

演者：丸山総一，今岡浩一，福士秀人，森田剛史

ワークショップII

「人と動物の絆。Human Animal Bondタイガープレイスと日本における代表的なアニマルセラピーの活動発表」

日獣会誌 65 256～257 (2012)



図1 開会式 山根会長挨拶

座長：戸塚裕久

演者：レベッカ・ジョンソン，種稲憲太郎，
福田美穂，柴内裕子

ワークショップIII

「東日本大震災から学ぶ今後の緊急災害時の動物救護～法的裏付けの必要性和平時からの準備」

座長：山口千津子

演者：荒井一利，川上直也

ワークショップIV

「ずっと一緒に居ようよ～飼い主とペットの日常を護る為に」

座長：藤田宏之

演者：阿部俊範，阿部容子，湯木麻里，香取章子

ワークショップV

「One World One Health」

座長：村田浩一

演者：ハフマン・マイケル，津田良夫，五筒公一

ワークショップVI

「東日本大震災における被災動物対応の現状と今後の課題～放射性物質汚染への対応を考える」

座長：伊藤伸彦

演者：河又 淳，佐藤利弘

ワークショップVII

「多様な対応が求められる動物医療」

座長：細井戸大成

演者：羽山伸一，杉原未規夫，横尾 彰

ワークショップVIII

「食の安全を考える」

座長：吉川泰弘



図2 ワークショップⅥ「東日本大震災における被災動物対応の現状と今後の課題」

演者：酒井淳一，森田幸雄，新本英二

ワークショップⅨ

「犬との共生」

座長：永村武美

演者：林 良博，村田香織，石山 恒，太田光明，
内山秀彦

本会はワークショップⅥとⅦを主催し，それぞれ約50名の方に受講いただいた。

Ⅵ「東日本大震災における被災動物対応の現状と今後の課題～放射性物質汚染への対応を考える」では，伊藤伸彦座長から，東日本大震災の被災状況，特に福島原発付近の動物等の被災，被曝の現状とその対応について，野生動物なども含め，全般的な話があった。その後，家庭動物については河又 淳氏から，産業動物については佐藤利弘氏から，それぞれ被災状況とその対応状況について説明がなされた。放射線の被害については，ゼロリスク志向に向かいがちであるが，他の要因を無視して，すべての現象を今回の事故に結びつけようとするのは早計であるとまとめられた。



図3 ワークショップⅦ「多様な対応が求められる動物医療」

Ⅶ「多様な対応が求められる動物医療」では，細井戸大成座長から，獣医師は動物の診療だけではなく，人の健康にも深くかかわる様々な仕事に取り組んでいるということが紹介され，その上で家庭動物分野に係る動物への対応が説明された。続いて，羽山伸一氏から野生動物分野について，杉原未規夫氏から公衆衛生分野について，横尾 彰氏から産業動物分野について，それぞれ獣医師の果たしている役割について解説された。細井戸座長から，獣医師に求められる仕事は時代と共に変わってきており，社会に貢献できるよう変遷しながら対応していきたいとまとめられた。

19日の閉会式では，四条畷学園大学教授の植村 興アドバイザーから，内容の濃い熱心な会議であったと演者や聴講者に謝辞が述べられた上，次回開催への意欲が表明され，温かい拍手のうちに，閉会となった。

本会議へご支援・ご協力いただいた企業・団体各位には改めて感謝の意を表すると共に，事務局運営に係る公益社団法人 Knots の格段のご尽力に，併せて厚くお礼申し上げたい。